



教育委員会だより

2025年11月

川南町立中学校の統合に係る基本方針 ～中学校のよりよい教育環境を求めて～

川南町教育委員会では、中学校統合の目的や開校に向けた取組状況等を町民の皆様にお知らせする「教育委員会だより」を発行します。

川南町教育委員会では、令和6年12月に実施した「中学校の統合に関するアンケート調査」の結果等をもとに、中学校の在り方について検討を重ね、今年5月に「川南町立中学校の統合に係る基本方針」を策定しました。川南町の明日を担う子どもたちによりよい教育環境を提供しながら魅力ある学校をつくることを目指しています。



なぜ中学校を統合するの？



生徒数・学級数の減少

今後も生徒数の減少が続き、令和9年度には400人、令和16年度には300人を下回る見込みです。現在も、両校とも国が示す適正規模（12～18学級）を満たせない状況となっています。



学校運営上の課題

- ・クラス替えができない学年の発生
- ・専門教員不足による免許外指導の増加
- ・多様な指導方法の実施困難
- ・部活動の限定

統合することにより、こうなります

- 生徒数が増えることで、多様な人間関係を築く機会が増える。
- 全教科に専門教員の配置が可能となる。
- 学力向上が期待できる。
- 部活動、地域クラブの選択肢が増える。



中学校の統合に関するアンケート調査の結果

令和6年12月実施のアンケートで、67.0%の方が中学校統合に理解を示しており、住民の多数が統合に賛同しています。



基本方針

唐瀬原中学校と国光原中学校を統合し、町中央部に新中学校を設置します。子どもたちにとってよりよい教育環境づくりを早急に進めます。

中学校を町中央部に設置するメリット

- 町立図書館、サンA川南文化ホール、町運動公園の効果的な利用

- 各種機関（町役場、総合福祉センター、保健センター、商工会、保育所等）との連携

めざす新中学校

～川南町の未来を担う人材を育成～



イラストはイメージです



目指す学校像

- 1 川南町の豊かな地域資源を活かし、地域社会と連携しながら未来を創造する生徒を育む学校
- 2 生徒一人一人の個性と才能を尊重し、誰もが行きたくなる魅力のある学校



目指す生徒像

- 1 自分の個性や強みを理解し、主体的に行動できる生徒
- 2 他者の意見を尊重し、協力しながら課題解決に取り組むことができる生徒
- 3 変化の激しい社会を生き抜くための創造性と探究心をもつ生徒
- 4 ふるさと川南への愛着と誇りをもち、主体的に地域課題の解決を図ろうとする生徒

★ 7つの基本コンセプト

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 地域とともにある学校づくり | 2 活力ある学習環境づくり |
| 3 安心な学校環境づくり | 4 学力向上の教育環境づくり |
| 5 多様化社会対応の学習環境づくり | 6 充実した部活動環境づくり |
| 7 安全に通学できる地域環境づくり | |



小学校の統合について

小学校は、身近な地域とのつながりがより密接であるため、小学校の統合を考える際には、「身近な地域とのつながりをどのように図っていくのか」、「どのような統合の在り方がよいのか」など、学校や地域の実情を踏まえながら十分に検討する必要があります。また、それに応じて地域住民への説明もしっかりと行っていかなければならぬため、早急な小学校の統合は難しいと判断しました。

今後、段階的な統合や小中一貫校も視野に入れながら、具体的な検討を進めていきます。

内容については、川南町教育委員会までお問い合わせください。

川南町教育委員会 TEL:27-8019



川南町立中学校の統合に係る
基本方針全文

川南町教育委員会は、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備に努めます。